

技能評価システム移転促進事業(SESPP) は日本式技能評価のノウハウを移転するため、ベトナム、カンボジア、インドネシアを対象に日本の専門家によるセミナーや技能評価トライアルを実施しています。事業の運営事務局を株式会社 J T B 霞が関事業部にて受託しております。日本式の技能評価の活用促進が図れるよう、J-Skills Newsでは、事業の取組など、お知らせしています。(年3回発行)

## □2021年度の技能評価システム移転促進 (SESPP) 事業の実施計画

「技能評価システム移転促進事業 (SESPP)」では、日本式の技能検定のノウハウを移転することを目的として、対象国において各種研修を実施しています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、専門家を現地へ派遣しての研修が難しい状況となっています。本年度は昨年度に引き続きオンラインでの研修に切り替えて実施する運びとなりました。ベトナム、カンボジア、インドネシアでの研修を予定しております。

セミナー・トライアル	実施時期	実施場所
<b>■ベトナム</b>		
・機械製図(CAD作業)3級SAT/SET	10月25日(月)～29日(金)	サイゴン・ハイテク・パーク訓練センター (SHTP-TC)
・旋盤3級SET	11月8日(月)～12日(金)	ヴインロン技術師範大学 (VLUTE)
・旋盤2級SET	11月22日(水)～26日(金)	ハノイ工業職業訓練短大 (HIVC)
・機械製図(CAD作業)3級SET	11月29日(月)～12月3日(金)	ハノイ工業職業訓練短大 (HIVC)
・機械検査3級SET	12月14日(火)～16日(木)	サイゴン・ハイテク・パーク訓練センター (SHTP-TC)
・機械検査2級SAT	1月10日(月)～14日(金)	ハノイ工業職業訓練短大 (HIVC)
・機械検査2級SAT	2月21日(月)～25日(金)	サイゴン・ハイテク・パーク訓練センター (SHTP-TC)
・技能競技大会セミナー-AMM (プラスチック金型)	2月21日(月)～23日(水)	バリアンタウ技術短大 (BCTECH) ヴインロン技術師範大学 (VLUTE)
・技能競技大会セミナー-AMM (情報配線施工)	11月27日(土)・1月14日(金)～1月16日(日)	ヴインロン技術師範大学 (VLUTE)
<b>■カンボジア</b>		
・配電盤制御盤組立て2級SAT	10月18日(月)～22日(金)	産業技術大学 (ITI)
・シーケンス制御2級SAT/SET	12月6日(月)～10日(金)	プレアソマック工科職業訓練校 (PPI)
・電気系保全3級SET/SAC	1月10日(月)～14日(金)	国立技術訓練大学 (NTTI)
・技能競技大会セミナー-AMM (情報配線施工)	2022年2月予定	国立カンボジア高等工科職業訓練校 (NPIC)
<b>■インドネシア</b>		
・CAD製図2級SAT/SET	2月7日(月)～11日(金)	松下グローバル財団 (YMG)
<b>■本邦研修</b>		
・電気系保全 3級SEM	12月22日(水)～12月24日(金)	カンボジア・ベトナム
<b>■ASEAN技能評価担当者セミナー</b>		
・機械製図(CAD作業)	1月18日(火)～1月20日(木)	インドネシア・カンボジア・タイ・ベトナム・マレーシア

※ 新型コロナウイルス感染症拡大の状況により実施時期・内容が変更となる場合があります。

SEM : Skills Evaluation Method 技能評価技法研修 SET : Skills Evaluation Trial 技能評価トライアル  
 SAT : Skills Assessor Training 技能評価者講習 SAC : Skills Assessor Certification 技能評価者認定  
 AMM: Assessment and Marking Method 競技課題採点・評価方法セミナー

## □SESPP新規セミナーの紹介

SESPPでは、これまで『技能検定』に係るのセミナーを実施して参りましたが、本年度より『技能競技大会セミナー』を併せて実施することとなりました。研修内容を紹介します。

### AMM 競技課題採点・評価方法セミナー (Assessment and Marking Method)

現地において技能競技大会を実施・運営する人材を育成するセミナーです。

技能競技大会の実施・運営方法、採点・評価方法に係る能力を付与することを目的とし、日本人専門家によるデモンストレーション、模擬競技の実施に重点を置き、競技種目のレベルアップ、新しい競技種目への取組を目指します。

### DTP 競技課題等作成方法セミナー (Development of Test Projects)

現地において技能競技大会を実施する上で必要な競技課題、実施要領、採点要領を作成する人材を育成するセミナーです。

競技課題、実施要領、採点要領の作成に係る能力を付与することを目的としています。

### AAS ASEAN技能評価担当者セミナー (ASEAN Skills Assessors Seminar)

ASEAN10ヶ国の技能評価担当者もしくは職業訓練指導員を対象に日本の技能検定、競技大会の技能評価システムの運営方法の説明、デモンストレーション、各国の技能評価システムの現状の共有を目的に実施するセミナーです。

ASEANとして取り組む技能標準作りや競技大会の実施を支援することを目的としています。

## □ベトナムにおける機械加工職種技能検定に関する日本の協力

J-Skill NewsではSESPP事業の過去の取り組みと成功事例を紹介しています。

ベトナム政府は、日本の協力を得て旋盤作業、フライス盤作業、マシニングセンタ（MC）作業の国家技能検定を実施しています。今回、これらの機械加工職種の技能検定が実施に至った背景、経緯及び今後の展望について紹介します。

### 1. 国家技能検定が導入された背景と経緯

2008年以降、GDP比で成長率6%前後の高い経済成長が続いていたベトナムでは、2020年までに工業国化を目指すという政府の方針のもとで、各種の施策が進められてきました。この好調な経済活動は、多くの外資系企業の進出を促し、その結果、経済活動の担い手となる技能労働者の確保と質の向上が大きな問題となっていました。

ところが、労働者の職務遂行能力を評価・認定するために必要な職業技能基準の開発や、それに基づく職業技能評価・資格制度の整備が遅れていました。このような状況を改善するために、ベトナム政府は、2008年にドイツ国際協力公社（GIZ）の協力を得て、コンピタンシーベースの国家職業技能基準（National Occupational Skill Standard : NOSS）の開発に着手し、国家技能検定の構築に向けた取組みをスタートさせました。

### 2. 国家技能検定の実施に向けた日本の協力

ベトナムの国家技能検定実施に関して、日本は、①JICA-HaUI（ハノイ工業大学）プロジェクト・フェーズⅡ（2010～2013年）、②GDVT（職業訓練総局。現在のDVET（職業教育訓練局））への専門家派遣（2010～2018年）、③技能評価システム移転促進事業（SESPP）の3つの支援を行っています。

（1）JICA-HaUIプロジェクト・フェーズⅡにおける技能検定（MC作業レベル2）の実施

当該プロジェクトの目的の一つにパイロット技能検定試験を実施することがありました。ベトナム側の強い要望により、MC（マシニングセンター）作業職種を実施する方向でワーキング・グループを立ち上げて検討に入りました。

使用した資料は、CNC金属加工のNOSS（CNC旋盤、MC作業等で構成されている）、日本の技能検定MC作業3級に関する基準と細目、学科試験問題、実技試験問題等です。最初に直面した課題は、コンピタンシーベースの技能評価試験を行うのか、日本式の技能検定（学科試験と実技試験で実施される総合技能評価方式）を行うのかという評価試験の方式でした。

そこで、イギリスの徒弟制度（Apprenticeship）プログラムを例にして、コンピタンシーベースの技能評価方法を説明し、併せて、日本の技能検定の実施方法を説明しました。そして、企業との緊密な協力体制の構築、技能評価に費やす時間、労力及びコストごとに両者の比較表を作成して検討した結果、ベトナムの現状に適した方法として、日本の技能検定方式を採用しました。

ワーキング・グループでは、学科試験問題、実技試験問題、実技試験実施要領、実技試験採点要領等を作成するとともに、評価者の育成も並行して進め、HaUIのVJC（ベトナム日本センター）機械加工コースの学生を対象にパイロット技能検定を実施しました。

この結果を受けてHaUIは、ワーキング・グループが作成した書類一式とパイロット技能検定の結果書類を添えて、GDVTへMC作業レベル2の認定申請をしました。そして、2012年12月、日系企業の従業員10名を対象に国家技能検定MC作業レベル2が実施されました。

その後、MC作業レベル3、レベル1が開発されています。

※ベトナムのレベル3、レベル2は、概ね日本の技能検定のそれぞれ2級、3級に相当。

## （2）GDVT（現DVET）への専門家派遣及びSESPPによる支援

2010年から2018年の間、厚生労働省からJICA専門家として3名がGDVTへ派遣されています。専門家の主な職務は、日本の技能検定制度の仕組み、技能検定の実施方法について紹介し、導入に向けた取り組みを支援することでした。2011年に鉱山掘削技術職種が第1号の国家技能検定として実施された背景には、専門家による協力が大きかったといえます。

GDVTは、派遣専門家から提供された情報や助言及びSESPPから得られた知識や経験を通して、日本式の技能検定のやり方を学習し、学科試験問題、実技試験問題の作成、評価者養成プログラムによる評価者の育成、評価センターの認定等の作業を進めました。

また、派遣専門家とSESPP事務局は、実施するプログラム、受講対象者の選定、実施場所の選定、実施時期の設定、実施に向けた段取り等に関して緊密に連携して、効果的かつ効率的にプログラムを実施しました。その結果、2018年7月、ものづくりの基本技能として日系企業からのニーズが高い旋盤作業レベル2とフライス盤作業レベル2が国家技能検定として実施され、大きな成果となりました。なお、現在は機械検査、機械製図CADの支援を行っています。



JICA-HaUIプロジェクト・フェーズⅡ ワーキンググループの様子



ベトナムにおける国家技能検定試験実施風景（旋盤レベル2）

### 3. 現状と今後の展望

これまでに55職種が認定され、直近3年間では34職種が技能検定として実施されています。機械加工職種としては、旋盤作業、フライス盤作業、CNC金属加工（CNC旋盤、MC作業）が実施されています。2020年の全職種の受検者合計は8,922人です。

CNC金属加工は328人、旋盤は50人で、毎年実施されており、ベトナムに根付きつつありますが、拡大・発展させるには多くの課題を克服する必要があります。

国家技能検定実施状況（受検者の多い上位5職種と機械加工3職種）

No.	職 種	2018				2019						2020					
		Level 2		Level 3		Level 1		Level 2		Level 3		Level 1		Level 2		Level 3	
		受検者数	合格者数	受検者数	合格者数	受検者数	合格者数	受検者数	合格者数	受検者数	合格者数	受検者数	合格者数	受検者数	合格者数	受検者数	合格者数
1	鉦山掘削技術	4808	4659	167	158	3334	2854	475	407			4387	3741	249	172		
2	鉦山電気技術	3131	2998	44	43	155	111	303	244			533	433	184	145		
3	工業電気	674	652	575	485	273	221	273	255	421	384	183	162	221	186	429	389
4	自動車技術	599	573	537	484	2635	2519	286	242	198	171	341	322	97	78	215	196
5	鉦山建設技術	151	145	33	31	241	213	41	27			421	350				
6	CNC金属加工			129	122	35	34	20	12	161	159	97	61	75	67	156	139
7	普通旋盤	74	36					5	5					50	26		
8	フライス盤	9	1														
機械加工3職種の受検者合計		212				221						378					
34職種の受検者合計		16,316				9,747						8,922					

出所：DVETより提供

(単位：人)

(注) 鉦山関連職種については、当該職種の業務に従事する際に国家技能検定に合格していることが必要

例えば、企業から出されている、以下の要望に沿った施策の実施が急がれるところです。

- ① 技能検定の情報が不足している。地域の年間実施スケジュールが分かると利用しやすい。
- ② 試験の範囲や、どんな問題が出題されているのか分からないので、従業員の教育ができない。  
過去の試験問題を開示してほしい。
- ③ 受検料が評価センターごとに違っているので統一すべきである。
- ④ 機械検査を国家技能検定として実施してほしい。

また、日系企業からのニーズの高い機械検査については、職種単独でNOSSの開発が難しい場合、機械加工職種のNOSSの中に複数のユニットシートで構成される機械検査作業を追加して、ユニット資格として実施することも考えられます。

ベトナム政府が、企業のニーズをくみ取って技能検定を運営すれば、拡大・発展が期待できます。

発行：SESPP事務局（株式会社JTB 霞が関事業部）

### 『J-Skills News』に関するお問合せ

SESPP事務局（株式会社JTB 霞が関事業部）

〒100-6051 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング23階  
 TEL：+81-3-6737-9261 FAX：+81-3-6737-9266  
 担当：近藤・横山・岩下・岩城  
 E-mail：[sespp@jtb.com](mailto:sespp@jtb.com)